



水都大阪の取組みについて

～「持続的な成長」をめざして～

2024年1月

水都大阪コンソーシアム（SOC）



水都大阪ビジョン（第12回水と光のまちづくり推進会議にて報告済）

■ 水都大阪のめざすもの（水都大阪ビジョン）

世界に類をみない第一級の水都の創造とともに、住まう人・携わる人・訪れる人を笑顔に

- 歴史と文化に培われた水都大阪を次世代につなぐ
- 世界の多くの人々が水都といえば大阪を思い起こす魅力あるにぎわい空間の創出
- 安全・安心で環境と共生する持続可能な水都大阪の確立

■ これまでの歩み



■ 水都大阪がめざすべき成長目標（概ね2025年度までを目途）

～ 新型コロナの影響による水辺のにぎわいの落ち込みを踏まえて ～

規制緩和の積極的活用とともに、エリア毎の特色を活かした魅力づくりによって、

水の回廊全体のさらなる活性化を推進する

交通の利便性向上や、安全・安心で環境と共生する「持続可能な水都大阪」の実現などによって、

水辺におけるライフスタイルの定着をめざす

水の回廊と今後の開発や整備が期待されるベイエリアや淀川をつなぐことで、

水都大阪の広がりを図る

『水都大阪ビジョン＜アクションプラン＞』より

2023年度の主な実績(1)

①万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出

②水都大阪のファンづくりとブランディングのさらなる強化

●水辺のにぎわいや、船が行き交う風景を四季を通じて創出

・春の水都大阪ウィーク「八軒家浜水辺の憩いの広場・南天満公園水辺のさくら回廊」、「Sound of Rose Garden」(2023年3～5月)

八軒家浜水辺の憩いの広場、南天満公園水辺のさくら回廊 【約5,500名来場】

大川さくらクルーズ「小学生無料乗船企画」の支援 【約25,000名乗船】

サウンドオブローズガーデン 【約2,300名来場、約100名乗船】



大川さくらクルーズ



南天満公園水辺のさくら回廊



サウンドオブローズガーデン

・夏の水都大阪ウィーク「涼み舟2023」(7～8月)

水上の風鈴めぐり(天満橋・中之島ガーデンブリッジ・道頓堀橋・本町橋)

水辺のSDGsスクール(夏休みの小学生を対象に、水都の暮らしと文化・川の生き物・ごみについて学ぶ取り組み)【72名参加】



水上の風鈴めぐり



涼み舟



水辺のSDGsスクール

2023年度の主な実績(2)

・秋の水都大阪ウィーク「中之島まんぷくクルーズ祭」(10月) 【3つの会場で約6400名来場】

まんぷくクルーズ【125便運航、544名乗船】、飲食ブース利用者数【2217食】、水辺を巡る歴史ガイドツアー【64名参加】

※キタハマミズム船寄場社会実験、近畿大学による企画(水都大阪アカデミア事業)と連携



中之島まんぷくクルーズ祭



世界の料理とステージ



船上レストラン

・冬の水都大阪ウィーク「中之島EAST 水辺の散歩道」(11~12月)

天神橋らせんスロープのライトアップ「天神橋TORCH」(11月~1月)

八軒家浜EXPO酒場、クリスマスライブ 【約17,000名来場】

※大阪・光の饗宴エリアプログラムとして登録

・水上ミニ花火の効果的な活用(4~12月 計10回)

舟運の定期的な賑わい創出のため、天満橋付近での水上ミニ花火(万博開催2年前、500日前にあわせて実施)



水辺の散歩道



天神橋TORCH



水上ミニ花火

2023年度の主な実績(3)

●民間ビジネスの創出

- ・水都大阪のシンボル空間創出・活用のための調査研究
 東横堀川：リバーサイドカフェ（4月）、東横堀川ING2023社会実験（9・10月）、地先利用実験
- ・万博航路を想定したクルーズ観光商品の社会実験
 市中心部～中央卸売市場前港～夢洲浮棧橋（上陸）～ユニバーサルシティポート など

●水都大阪のブランディングの発信・強化

【SNS実績：410回発信、約15000名フォロー、TV等マスコミ掲出数：19件】

- ・外国人留学生エキスポへの出展（マイドームおおさか）（8月）
- ・ツーリズムエキスポジャパンへの出展（インテックス大阪）（10月）※大阪観光局等と合同出展
- ・大学生や高校生による「水都大阪」の魅力発見・発信プロジェクト「水都大阪アカデミア」の実施
- ・「水都大阪の教科書」の発行およびお披露目会の実施（5月）

③万博、さらにその先を見据えた持続可能な水都の検討

- ・船着場案内板等表示事業
- ・スマート水都勉強会の開催
- ・水辺を語る会の実施
- ・淀川舟運活性化協議会への参画等淀川やベイエリアとの連携



東横堀川ING（水上テラス）



万博航路を想定した社会実験



外国人留学生エキスポ



ツーリズムエキスポジャパン



船着場案内板表示

2024年度事業の方向性

■ 当面の課題

- 2025年大阪・関西万博に向け、増加が見込まれるインバウンドや国内利用客に対し、観光船の定期的な運航の拡充など、**十分な乗船機会を提供**すること
- **国内外への水都大阪の魅力発信を強化**するとともにシビックプライドを醸成すること
- **多様な企業・団体等との連携**を通じて、水辺の賑わいに関する**取組みを拡大**すること

■ 来年度事業の方向性

- ～ 万博インパクトを活用し、水辺のにぎわい創出や舟運の活性化に取り組む ～
- 万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
(観光船の定期的な運航の拡充・観光客ニーズに沿ったクルーズ商品開発の支援など)
 - 水都大阪のブランディングと情報発信の強化
(府市等の観光誘客事業との連携、インバウンドへリーチする情報発信の仕掛けづくりなど)
 - 万博、さらにその先を見据えた水辺のステークホルダーとの連携強化
(多様な水辺の利活用支援など)